

(別紙)

# 評価細目の第三者評価結果（保育所）

※すべての評価細目（48項目）について、判断基準（a・b・cの3段階）に基づいた評価結果を表示する。

※評価細目毎に第三者評価機関の判定理由等のコメントを記述する。

## 評価対象Ⅰ 福祉サービスの基本方針と組織

### I-1 理念・基本方針

	第三者評価結果
I-1-(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。	
I-1-(1)-① 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	Ⓐ・b・c
〈コメント〉 教育保育理念・教育保育指針をホームページやパンフレットに掲載し、職員には日ごろから会議等で周知しています。保護者に対しても入園時の説明会で丁寧に詳しい説明があったと、利用者アンケートで多く聞かれました。	

### I-2 経営状況の把握

	第三者評価結果
I-2-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。	
I-2-(1)-① 事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	Ⓐ・b・c
〈コメント〉 園長は「子ども子育て会議」に参加したり市内の園長会の副会長を努め、常に業界動向の情報を収集しています。得た情報は園長・主任会議で情報共有し、更に全職員に周知しています。顧問税理士による収支分析結果を参考に、適切な運営に取り組んでいます。	
I-2-(1)-② 経営課題を明確にし、具体的な取組を進めている。	Ⓐ・b・c
〈コメント〉 園の課題については、園長から主任、現場職員に落とし込み、園長方針と現場職員の意見を調整しながら改善に取り組んでいます。	

### I-3 事業計画の策定

	第三者評価結果
I-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。	
I-3-(1)-① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	a・b・Ⓒ
〈コメント〉 園長は、中・長期的なビジョンを常に持ち、法人および園の運営に努めています。今後はその内容を文書に落とし込み、将来発生する修繕費等に対する資金調達方法を検討するなど、事前に見える化することで着実に実行できる仕組み作りを期待します。	

I-3-(1)-② 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	a・b・c
<p>〈コメント〉  中・長期計画の文書化は無いものの、園長が考える計画に沿った、単年度の事業計画が作成されています。現場での問題や課題について、職員自身がどう考えてどう行動すべきかを考えることで新しいことにもチャレンジし、業務計画に反映しています。</p>	
I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。	
I-3-(2)-① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	①a・b・c
<p>〈コメント〉  事業計画の策定に際しては、園長から次年度の計画方針や教育・保育内容、業務内容について提示しています。その内容の達成に向けて、各クラスで1年間を振り返りながら事業目標を設定しています。</p>	
I-3-(2)-② 事業計画は、保護者等に周知され、理解を促している。	①a・b・c
<p>〈コメント〉  教育・保育に対する国の方針や園の考え、各クラスでは「こういった形の保育をしていく」などの文書を作成して、担任の思いや具体的な取り組み方針について保護者に伝えています。一人ひとりその子に応じた育ちに合わせて自己主張できる取り組みを行っています。年2回の保護者会や入園説明会でも事業計画を詳しく説明しています。</p>	

#### I-4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組

	第三者評価結果
I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。	
I-4-(1)-① 保育の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	①a・b・c
<p>〈コメント〉  各部門別で職員グループを構成して保護者アンケート結果を参考に、次のイベントや催しの企画を検討・見直しを行っています。毎日の教育・保育の後には、各クラスの職員同士で振り返りをする時間を持つようにしています。副園長・主任が若手の育成に力を入れています。</p>	
I-4-(1)-② 評価結果にもとづき保育所として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	①a・b・c
<p>〈コメント〉  複数担任制のクラス運営をしていることから、課題や問題について常に職員同士で話し合いながら、より良い教育・保育に向けて取り組んでいます。</p>	

## 評価対象Ⅱ 組織の運営管理

### Ⅱ-1 管理者の責任とリーダーシップ

		第三者評価結果
Ⅱ-1-(1) 管理者の責任が明確にされている。		
Ⅱ-1-(1)-①	施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	a・ <b>⑥</b> ・c
<p>〈コメント〉</p> <p>職務分掌表により、園長以下全職員の役割が明記されています。有事における園長不在の場合には副園長・主任が代行しますが、実際に発生した時の行動指示方法等も、訓練で園長が見本を示す取り組みが望まれます。</p>		
Ⅱ-1-(1)-②	遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	<b>④</b> ・b・c
<p>〈コメント〉</p> <p>園長は、様々な機会を通して遵守すべき法令等の情報を把握しています。特に法令遵守と安全管理に関しては園として厳格に対応する方針をもち、職員への周知・徹底に指導力を発揮しています。</p>		
Ⅱ-1-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。		
Ⅱ-1-(2)-①	保育の質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮している。	a・ <b>⑥</b> ・c
<p>〈コメント〉</p> <p>園長は「子どもと共に先生を育てる」を目指しています。職員が主体的に考えて行動することが保育の質向上にもつながると考えていますが、職員からは園長がもっと現場に入って欲しいとの要望もあるようです。</p>		
Ⅱ-1-(2)-②	経営の改善や業務の実効性を高める取組に指導力を発揮している。	a・ <b>⑥</b> ・c
<p>〈コメント〉</p> <p>法人内に4保育園ありますが、園長は経営の効率化や業務の実効性、新たな保育業務の取り組みなどに率先して取り組んでいます。職場環境については、昼休みに落ち着いて休憩できるスペースの整備が望まれます。</p>		

### Ⅱ-2 福祉人材の確保・育成

		第三者評価結果
Ⅱ-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。		
Ⅱ-2-(1)-①	必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	<b>④</b> ・b・c
<p>〈コメント〉</p> <p>職員体制については非常勤職員を活用することで、正規職員の業務サポート体制を整えています。採用活動では就職フェア等にも積極的に取り組んでいます。</p>		
Ⅱ-2-(1)-②	総合的な人事管理が行われている。	a・ <b>⑥</b> ・c
<p>〈コメント〉</p> <p>法人として年功序列の人事評価制度を運用しています。現状は上手く運用できているとの事ですが、今後、違う評価制度へのニーズが生じた場合には、見直しを検討されることを期待します。</p>		

II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。		
	II-2-(2)-① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。	a・ <b>③</b> ・c
<p>〈コメント〉 有休休暇は、園として100%取得に努めていますが、職員からは連休取得ができる体制整備への要望があります。時間外については、残業発生時は申請して対応する様に指導し、副園長・主任から早く帰るように声掛けしています。</p>		
II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。		
	II-2-(3)-① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	a・ <b>③</b> ・c
<p>〈コメント〉 年度初めに、園長は各職員と面談して個人目標を設けています。副園長・主任が年間4回面談して、進捗状況の確認やその職員に合ったアドバイスを行っています。目標設定の書式を設けるなど、人材育成に繋がる仕組みづくりを期待します。</p>		
	II-2-(3)-② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	<b>③</b> ・b・c
<p>〈コメント〉 三重県保育士等キャリアアップ研修を活用した職員派遣を行っています。職員は「個別研修計画書」を作成し受講記録を各人で管理するなど、自主的な研修参加を促しています。</p>		
	II-2-(3)-③ 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	<b>③</b> ・b・c
<p>〈コメント〉 研修に関しては、外部研修のほか、内部研修も充実した内容に取り組み、実践での研修も実施しています。職員が参加したい研修があれば提案・承認により積極的に派遣しています。</p>		
II-2-(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。		
	II-2-(4)-① 実習生等の保育に関わる専門職の研修・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	a・ <b>③</b> ・c
<p>〈コメント〉 実習の手順書を定め、大学からの指導プログラム内容を実施しています。施設独自のプログラム整備まではありませんが、実習生本人の希望を聞いてプログラムに追加するなど柔軟な対応をしています。</p>		

## II-3 運営の透明性の確保

		第三者評価結果
II-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。		
II-3-(1)-① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。		㉠・b・c
<p>〈コメント〉            教育保育理念や教育保育方針、財務関連の情報をホームページやWAM NET、広報誌等に掲載しています。パンフレットでも教育・保育の様子を、わかりやすく説明した情報を公開しています。</p>		
II-3-(1)-② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。		㉠・b・c
<p>〈コメント〉            顧問税理士や社会保険労務士などと契約し、専門的な指導やアドバイスを受けて、公正かつ透明性の高い事業運営に取り組んでいます。</p>		

## II-4 地域との交流、地域貢献

		第三者評価結果
II-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。		
II-4-(1)-① 子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。		a・㉠・c
<p>〈コメント〉            園のお知らせボードを活用して、地域で開催される「子育て話し合い会議」やイベントなどを保護者に情報発信しています。園の周辺は工場などが多く、交通量も多いことから、園からの外出や散歩はしていない為、地域交流する機会を持つことが難しいようです。</p>		
II-4-(1)-② ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。		a・㉠・c
<p>〈コメント〉            ボランティアの受入は現状行っていないとの事ですが、今後、様々なボランティアの受け入れを想定した受入マニュアル（申込書類・誓約書・オリエンテーション等）の整備や職員体制の検討を期待します。</p>		
II-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。		
II-4-(2)-① 保育所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。		㉠・b・c
<p>〈コメント〉            各保育室に必要な関係機関リストを整備して、すぐに連絡ができる体制にあります。月1回、市内の園長会への参加や行政との定期的な会議への参加など、関係機関と常に連携を図っています。</p>		

Ⅱ-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。		
Ⅱ-4-(3)-①	地域の福祉ニーズ等を把握するための取組が行われている	㉠・b・c
<p>〈コメント〉</p> <p>地域の子育て支援の一環として定期的に園庭開放を行い、悩み相談も受け付けています。園長は地域の要保護児童対策地域協議会の代表委員を努めるなど、地域の福祉ニーズを常に把握しています。</p>		
Ⅱ-4-(3)-②	地域の福祉ニーズにもとづく公益的な事業・活動が行われている。	a・㉡・c
<p>〈コメント〉</p> <p>園では、みえ福祉の「わ」創造事業に参加して地域の公益活動を支援したり、周辺地域の清掃や道路の雪かきなども行っています。今後は園が持つ、教育・保育の専門性を地域に還元する取り組みを期待します。</p>		

## 評価対象Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

### Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス

		第三者評価結果
Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。		
Ⅲ-1-(1)-①	子どもを尊重した保育について共通の理解をもつための取組を行っている。	㉠・b・c
<p>〈コメント〉  「人権マニュアル」を法人内の4園で共同作成し、毎月の職員会議でマニュアルの周知や話し合い、事例発表を行っています。園内研修として保育園連盟紹介の弁護士を招いた人権研修を開催しています。他園で実施している保育を見学し、今後の保育に生かす学びを行っています。</p>		
Ⅲ-1-(1)-②	子どものプライバシー保護に配慮した保育が行われている。	㉠・b・c
<p>〈コメント〉  職員アンケートから、子どものプライバシー保護に対する意識は非常に高いことが伺えます。未滿時のトイレでの下着の着脱もプライバシー保護が十分にされており子どもたちが安心して着脱を行っています。また、不適切な保育の内容を5類型に分類して。それぞれに対する事例と対応についてのマニュアルを現在作成中です。</p>		
Ⅲ-1-(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。		
Ⅲ-1-(2)-①	利用希望者に対して保育所選択に必要な情報を積極的に提供している。	㉠・b・c
<p>〈コメント〉  ホームページで保育の様子を写真などで紹介する他、現在保育園を利用している保護者の知人に、当園の良さを口コミで伝えてもらえるように、保育システムを活用して園の様子を情報発信しています。また、YouTubeを活用した保育動画を限定公開しています。</p>		
Ⅲ-1-(2)-②	保育の開始・変更にあたり保護者等にわかりやすく説明している。	㉠・b・c
<p>〈コメント〉  「重要事項説明書」や「入園のしおり」では、図やイラストを使ってわかりやすく説明しています。保育の変更等は保育システムの外、文書でも保護者に報告しています。</p>		
Ⅲ-1-(2)-③	保育所等の変更にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。	a・㉠・c
<p>〈コメント〉  保育園等の変更にあたっては、定型の引継ぎフォームは特にありませんが、保護者の同意を得て必要な書類を準備して対応しています。</p>		
Ⅲ-1-(3) 利用者満足の向上に努めている。		
Ⅲ-1-(3)-①	子どもの満足の向上を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	㉠・b・c
<p>〈コメント〉  年度途中に実施した保護者アンケート結果を踏まえ、年度末に園の自己評価を実施しています。そこで明らかになった課題や問題点について、次年度に向けた教育・保育の強化点や改善点についての取り組み方針を保護者に公開しています。</p>		

Ⅲ-1-(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。		
Ⅲ-1-(4)-① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。		㉠・b・c
<p>〈コメント〉          苦情解決の対応手順について各保育室に掲示して職員に周知しています。月1回の職員会議では、受け付けた苦情についての情報共有を行っています。</p>		
Ⅲ-1-(4)-② 保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、保護者等に周知している。		㉠・b・c
<p>〈コメント〉          重要事項説明書に要望・苦情等に関する相談窓口を掲載しています。普段から職員は保護者と相談しやすい関係づくりに取り組み、相談があれば個別に相談スペースで対応しています。</p>		
Ⅲ-1-(4)-③ 保護者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。		㉠・b・c
<p>〈コメント〉          相談内容により、検討が必要な場合には、苦情解決の対応手順に準じて検討を行っています。担当職員に加え、主任または副園長の複数で対応することとし、場合によっては自宅訪問するなど、迅速で丁寧な対応に努めています。</p>		
Ⅲ-1-(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。		
Ⅲ-1-(5)-① 安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。		㉠・b・c
<p>〈コメント〉          「ヒヤリハット」に対する取り組みを強化し、小さなことでも気づいたら何でも書く様に声掛けをし、毎月の職員会議では事例発表と改善策の検討を行っています。改善策については保護者にも情報公開しています。この取り組みにより、職員のリスク管理意識が向上し、発生の減少に繋がっているとの事です。園で起こった怪我は担任が病院同行して、怪我をした状況をドクターに正確に伝えており、保護者や子どもは安心感を感じています。</p>		
Ⅲ-1-(5)-② 感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。		㉠・b・c
<p>〈コメント〉          感染症の予防や対応については職員会議等で周知しており、職員アンケートでもその取り組みが確認できます。また、発生時には対応マニュアルの内容をお知らせボードで保護者にも周知しています。</p>		
Ⅲ-1-(5)-③ 災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている。		㉠・b・c
<p>〈コメント〉          災害時の「備蓄リスト」では、職員および子どもを対象とした非常食（アレルギー対応）を3日分整備しています。職員の安否確認では2種類の連絡方法により必ず連絡が取れる体制をとっています。保護者へは保育システムで対応しています。災害時には、地域の自治会に駐車場を提供する予定です。</p>		



### Ⅲ-2 福祉サービスの質の確保

	第三者評価結果
Ⅲ-2-(1) 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。	
Ⅲ-2-(1)-① 保育について標準的な実施方法が文書化され保育が提供されている。	a・ <b>㉔</b> ・c
<コメント> 各種のマニュアルが各保育室に配備されています。リスク管理に対応するマニュアル内容については、特に園長から職員に対して徹底した指導が行われています。	
Ⅲ-2-(1)-② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	<b>㉔</b> ・b・c
<コメント> 各業務の担当者会議にて、マニュアル内容の見直しを行い、マニュアル内容に変更があった場合には、職員研修を年間計画に盛り込むなどの取り組みが行われています。	
Ⅲ-2-(2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。	
Ⅲ-2-(2)-① アセスメントにもとづく指導計画を適切に作成している。	<b>㉔</b> ・b・c
<コメント> 担当職員によるアセスメントの他、副園長や主任、毎月園を巡回する臨床心理士や聴覚言語士の意見を聞いて、個別の指導計画を策定したうえで関係する職員に周知しています。	
Ⅲ-2-(2)-② 定期的に指導計画の評価・見直しを行っている。	<b>㉔</b> ・b・c
<コメント> 週案について評価・見直しを行い、次の月案を作成しています。個別の指導計画については、毎月巡回する臨床心理士や聴覚言語士の指導を受けて見直しを行っています。	
Ⅲ-2-(3) 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。	
Ⅲ-2-(3)-① 子どもに関する保育の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	<b>㉔</b> ・b・c
<コメント> 保育システムに、月案・日誌を入力し、更にプリントアウトして職員と情報共有しています。記録内容や書き方については、副園長・主任がチェックして指導しています。	
Ⅲ-2-(3)-② 子どもに関する記録の管理体制が確立している。	<b>㉔</b> ・b・c
<コメント> 個人情報保護規定や文書保存・廃棄規定等を整備して厳格な管理を行っています。個人情報文書を事務室から保育室に持ち出す場合には、管理簿で管理者の承認を得てから持ち出す決まりがあります。	

評価対象Ⅳ 三重県独自基準

Ⅳ-1 地域項目

		第三者評価結果
Ⅳ-1 地域に開かれた施設運営が適切に行われている。		
Ⅳ-1-①	子育て経験者との連携がとれている。	a・ <b>③</b> ・c
<p>&lt;コメント&gt;                      利用者（保護者）以外の地域の方が園内に入内することをリスク管理上制限していますが、連携する他園の方や法人の保育士が来園して意見を聞く機会があります。</p>		
Ⅳ-1-②	子供の安全確保について地域との相互協力体制の構築を行っている。	a・ <b>③</b> ・c
<p>&lt;コメント&gt;                      地域との交流機会は少ないものの、地域交番との連携や、交通安全協会が来所した年1回の交通安全指導が行われています。施設では防犯システムを導入して子どもの安全を確保しています。</p>		
Ⅳ-1-③	地域の環境保護に貢献している。	<b>③</b> ・b・c
<p>&lt;コメント&gt;                      子どもへは、リサイクルやSDGsの絵本を読み聞かせたり、分別の教育・保育を行っています。職員による保育園周辺の清掃活動を年1回行っています。</p>		